

水道事業の決算状況

炊事や洗濯、入浴など私たちの生活には水は欠かせません。市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民のみなさんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを毎年度、実施しています。今月号では、平成14年度水道事業会計の決算状況をお知らせします。

水道事業会計の概要

水道事業会計は、性質別に『収益的収支』と『資本的収支』の2つに分類されています。

収益的収支はみなさんからいただく水道料金などで、施設の維持管理や修繕、国から借りたお金の支払利息などの費用を賄う収支をいい、資本的収支は国からの借入金などで、配水池の建設や配水管の整備、国から借りたお金の元金償還などの費用を賄う収支をいいます。

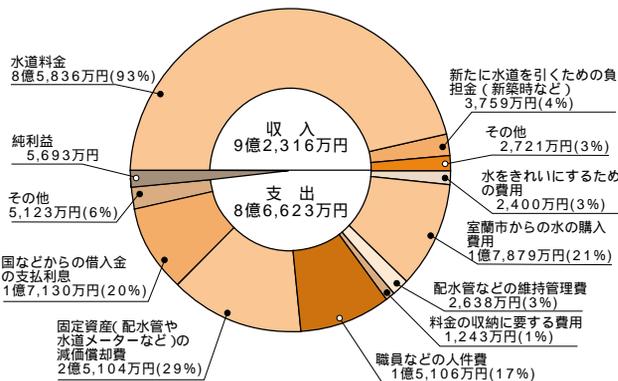
一般的に1事業年度の営業成績を示す『損益（黒字または赤字）』は収益的収支で表します。

平成14年度の決算

水道事業会計

収入と支出の概要

収益的収支グラフ



収益的収支

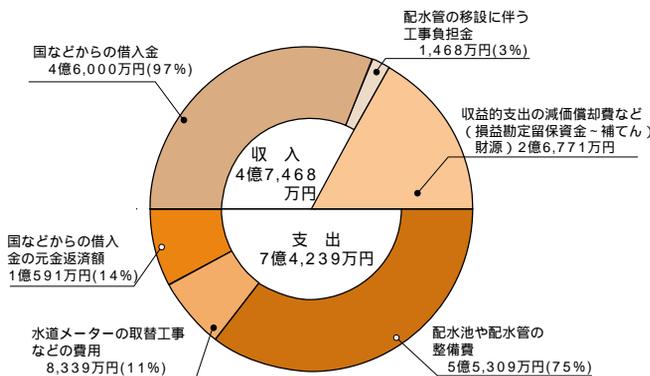
収入合計は、予算の9億4,004万円に対し決算は9億2,316万円です。1,688万円の減となりました。この原因は、水の使用量が減少した影響によるものです。

一方、支出合計は、予算の9億2,833万円に対し決算は8億6,623万円です。6,210万円の減となりました。この原因は、受水費(室蘭市からの水の購入費)や修繕費などが減少した影響によるものです。

収支決算は、予算の1,171万円に対し5,693万円の黒字となりました。

また、この黒字額については、前年度から繰り越された赤字額(未処理欠損金)3,917万円に補てんされます。この結果、平成14年度の差し引き黒字は1,776万円となり、国などからの借入金の元金償還のための積立金として処理する予定です。

資本的収支グラフ



資本的収支

収入合計は、予算の5億6,730万円に対し決算は4億7,468万円です。9,262万円の減となりました。この原因は、年度内に完成していない工事があるため、国からの借入金の交付が15年度にずれ込んだためです。

一方、支出合計は、予算の8億5,862万円に対し7億4,239万円です。1億1,623万円の減となり、このうちの1億1,623万円が工期の関係で15年度に予算繰り越したとなりました。

収支決算は、予算の2億9,132万円に対し2億6,771万円の財源不足となりました。

また、この不足額については、収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用の減価償却費など(損益勘定留保資金)で補てんしました。